

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾奥海面に着色がみられたとの報告があり、海水の検鏡を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、貝毒原因種のアレキサンドリウム属が(表1)確認されました。

また、着色箇所における優占種は魚毒性のないノクチルカ・シンチランスでした。

細胞の特徴からアレキサンドリウム属と判断しましたが、アレキサンドリウム カテナラ(警戒密度500cells/ml:大阪府)かアレキサンドリウム リーエ(警戒密度:知見なし)かは不明です。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 検鏡結果

	アレキサンドリウム属	ヘテロシグマ・アカシオ	ノクチルカ・シンチランス
蜂ヶ尻漁港内(0m)	34cells/ml	0cells/ml	500cells/ml
蜂ヶ尻漁港堤防前(0m)	8cells/ml	12cells/ml	3cells/ml
野見漁協冷蔵庫前(0m)	21cells/ml	0cells/ml	0cells/ml
大谷漁協前(0m)	26cells/ml	51cells/ml	0cells/ml

